

岩手興産 株式会社

平成29年度
事業計画名

新たな車体プリント事業の創出による受注の拡大

DATA	代表者名	代表取締役 高橋 嘉信	資本金	1,800万円	従業員数	10名
	設立	1972年7月	事業内容	自動車の点検・整備、各種保険取り扱い、燃料の販売、オートボディペイント		
	実施場所	〒024-0033 岩手県北上市成田22地割114-1 TEL 0197-72-5841 FAX 0197-72-5842 E-mail. toiawase@iwate-kosan.co.jp	U R L	http://iwate-kosan.co.jp/		

大型車体プリンターの導入により、新規事業を創出

「走る広告」として需要の高まる車体プリントを、自社で内製化できるオートボディプリンターを導入。自社の新しい事業として展開し、既存・新規含めた受注の拡大を図った。

全国でも需要が高まる車体プリント

岩手興産株式会社は、岩手雪運株式会社の整備部門として昭和47年に創業。以来、主にトラックなどの自動車の整備・修理、燃料の販売、各種保険の取り扱い業務などを行ってきた。それらの中でも利益率の高い自動車整備事業分野を今後さらに展開していくため、本事業により新たに車体プリント事業に取り組むこととした。

車体プリントは近年、車体を「走る広告」として活用できることから全国でその需要が高まっている。また主要顧客である岩手雪運や既存取引先からも受注の見込みが持てる事業である。しかし、現在の主流である、マスキングをして塗装する方法や、カッティングシートなどを貼る方法には職人による高い技術が必要であり、職人の養成やコスト、納期面でも当社の現状では対応することが難しい。

そこで、従来の施工方法とは異なる形で顧客ニーズを満たす方法を模索。その結果、(株)エルエーシー(現リコーデジタルペインティング(株))製の「オートボディプリンター」を導入することとした。



新たに導入したオートボディプリンター。フレーム脇にトラック等を駐車し、インクジェット方式で直接車体にプリントしていく。

車体プリント専任の社員を新たに雇用

オートボディプリンターは大型のインクジェットプリンターのような仕組みで、トラックの荷台をはじめさまざまな素材に顧客の求めるデザインを直接プリントできる塗装装置である。今回の補助事業ではプリンター本体に加え、プリンターを制御するためのパソコン、インクを噴射するためのコンプレッサーを導入した。

車体にプリントするための下準備として、並行方向の位置合わせのほか、印刷面の凸凹にインクの噴射ノズルがひっかからないよう3Dのポインティングデータを取り設定することが必要である。この作業に時間と技術を要するが、設定後はノズルが往復しながら自動でプリントを行ってくれる。データは持ち込みの他、



高精細な写真なども美しく再現できる。

自社で制作することもでき、会社ロゴなどはもちろん写真などのかなり高精細なプリントも可能である。

今回の導入を受け、デザイン製作等の経験を持つオートプリンター専任の社員を新たに1名雇用。今後はデザインの提案も含めた事業展開をしていきたいと考えている。

内製化により、短納期化・低コスト化を実現

オートボディプリンターは軽自動車から大型の10tトラックにまで対応し、1台を下準備含め約5日～1週間ほどで仕上げるができる。下準備には複数人の社員が必要だが、セットしてしまえば自動でプリントするためその間は別の作業を行うことができ、ほかの業務への負担も少ない。また屋外を走るトラックはプリント面の劣化が避けられないが、耐候性・耐水性・耐光性などを備えたインクを使用するため、シートなどに比べ耐久性が高いこともこのオートボディプリンターの強みである。プリントの消去も容易で、シート等の廃棄物も出さず、塗り替えのしやすさ



車体プリント専任の社員を新たに雇用。経験年数や技術力に頼らず操作できる。

もメリットとして挙げられる。

当社ではこれまで車体塗装を外注で行っていたが、自社にプリンターを備えたことで内製化が可能となり、短納期化、低コスト化が図られた。

主要顧客や既存取引先からはじめ、徐々に事業の拡大を目指す

当面は、グループ会社である岩手雪運の導入する新車への施工を中心に考えている。このうち新設備により施工可能な車両は年間10～15台ほどあり、そのすべてを受注する予定である。併せて、現在取引のある企業や近隣の貨物自動車運送事業者にも営業活動を行う予定であり、こちらからは年間20台以上の受注を見込んでいる。

現在は、修理・整備などほかの作業や人員の問題によりこれ以上の大幅な受注拡大は難しい状況ではあるが、実績を積み上げることで、今後全体の売り上げにおける車体プリント事業の割合を増やしていけたらと考えている。このオートボディプリンターを所有しているのは東北でも3社のみであり、整備と一緒に



代表取締役の高橋嘉信さん。車体プリント事業で、他の自動車整備工場との差別化を図っていきたいと話す。

ボディの塗り替えも請け負えることで、他社との差別化を図り従来の事業に付加価値を付けられるものと考えている。今後はグループ会社とも協力しながら、地域のイベント告知やPRなどもプリントし、地域貢献にもつなげていきたい。